

平成 1 0 年度試験研究成果

区分	普及	題名	品種 ダイコン「岩手Y R春いちばん」		
[要約] 従来早まきに使用されてきた「天宝」及び「いわて青首」は、ダイコン萎黄病に対し抵抗性が弱くダイコン萎黄病発生圃場では作付けできなかった。「岩手Y R春いちばん」は、ダイコン萎黄病に対し、「天宝」及び「いわて青首」以上の強い抵抗性を持ち、「いわて青首」に近い品質を有している。					
キーワード	ダイコン	品 種	岩手Y R春いちばん	県北農業研究所 産地育成研究室	

1. 背景とねらい

本県のダイコン生産は、生産面積及び生産量ともに平成元年度をピークに年々減少傾向にある（生産面積H9/H1 61%）。減少の主な理由としては、価格の低迷やダイコン萎黄病の発生などが考えられ、平成8年度にはダイコン萎黄病に対する耕種的対策として、萎黄病抵抗性品種「W - 1 5 1 1」が推奨品種として採用された。

「W - 1 5 1 1」は抽苔性から「いわて青首」の後半部分の代替品種と考えられたが、青首部の着色が薄いなどの品質上の問題があった。そのため、「いわて青首」並の品質を持つ萎黄病抵抗性品種の選定が望まれていた。「岩手Y R春いちばん」は、ダイコン萎黄病に対し、「天宝」及び「いわて青首」以上の強い抵抗性を持ち、「いわて青首」に近い品質を有していることから、その特性を紹介する。

2. 技術の内容

(1) 来歴

ア 四元交配種。平成5年より「岩手Y R春いちばん」として市販開始。

(2) 特性概要

ア 萎黄病抵抗性は「天宝」及び「いわて青首」より強く、「宮小町」並であった。（表1）

イ 抽苔性は「天宝」及び「いわて青首」より早く、「宮小町」より晩抽で、ほぼ「W - 1 5 1 1」と同等と考えられる。（図1）

ウ 根形の総太り型割合は「いわて青首」並で、青首部の着色は「いわて青首」並からやや薄い傾向にあった。（表3）

エ 根部の硬度は「いわて青首」並からやや硬い傾向を示した。（表3）

オ 収穫期は、「いわて青首」よりやや遅かった。（表2）

(3) 品種育成元

柳川採種研究会

3. 普及上の留意事項

(1) ダイコン萎黄病に対しては「宮小町」並の抵抗性を持っていると考えられるが、発病しないわけではないので、「宮小町」が発病するような萎黄病発生圃場では作付けしない。また、輪作体系を組むなどして耕種的な萎黄病対策も同時に講じる必要がある。

(2) 抽苔に関しては、「いわて青首」より抽苔が早いので無理な早まきは避ける。無マルチ無被覆栽培において抽苔株率が概ね10%以下になるのは、播種後20日間の日平均気温が15℃以上の場合であると推測される。

(3) 生育後期が高温に遭遇するような6月上旬以降の播種は、黒変症などの生理障害の発生のおそれがあるため、6月以降は次の品種に切り替える。

4. 技術の適応地帯

(1) 適 応 地 域 県北部及び高冷地

(2) 適 応 作 型 播種期：5月下旬（無マルチ無被覆栽培）

(3) 普及見込み面積 60 ha

5. 当該事項にかかる試験研究課題

野菜2 - 1 - (3) - ア地域適応性に優れた品種の選定 (ア)ダイコン

6. 参考文献・資料

7. 試験成績

表1 萎黄病抵抗性

品 種 名	根部の中央部		根部の先端部	
	発病株率(%)	発病度 ¹⁾	発病株率(%)	発病度
H8 W - 1 5 1 1	1.1	0.2	2.2	0.4
宮 小 町	11.8	7.1	64.7	35.3
岩手YR春いちばん	10.5	3.2	31.6	12.6
天 宝	100.0	81.1	100.0	85.3
いわて青首	100.0	100.0	100.0	100.0
H9 W - 1 5 1 1	0	0	0	0
宮 小 町	0	0	0	0
岩手YR春いちばん	2.6	1.1	13.2	5.8
天 宝	11.1	6.1	22.2	18.9
いわて青首	48.6	43.2	48.6	44.9

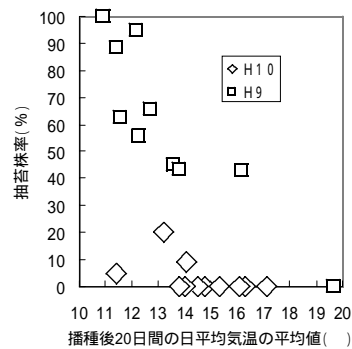


図1. 岩手YR春いちばんの抽苔温度

発病度¹⁾: (各発病指数×各発病株数) / (全調査株数×5) × 100 発病指数 0:導管部の褐変が見られない。1:導管部の1/10以下に褐変が見られる。2:導管部の1/10~1/2に褐変が見られる。3:導管部の1/2以下に褐変が見られる。4:導管部の大部分が褐変している。5:立毛状態で枯死または萎凋している。

表2 収穫時の品質

播種期	品 種 名	全重 (g)	調整重 (g)	根重 (g)	根長 (cm)	根径 (cm)	青首長 (cm)	平均収穫日 (月.日)
H9. 5. 9	いわて青首	995	827	731	25.9	7.6	10.9	7/14
	天 宝	1137	1022	932	31.2	7.5	13.5	7/14
	岩手YR春いちばん	1145	1010	891	27.7	7.9	7.9	7/13
6.12	W - 1 5 1 1	811	764	727	29.4	6.3	12.0	8/28
	岩手YR春いちばん	1295	1196	1143	36.0	7.2	16.0	8/28
H10.4.24	いわて青首	2018	1641	1418	35.6	8.5	14.8	6/27
	天 宝	1825	1516	1374	36.6	8.2	13.8	6/29
	岩手YR春いちばん	1794	1499	1283	33.2	8.4	7.5	6/26
5.11	いわて青首	1708	1385	1204	34.0	8.5	9.3	7/ 6
	天 宝	1486	1157	976	32.9	7.9	8.7	7/ 6
	岩手YR春いちばん	1690	1396	1225	32.6	8.6	8.6	7/11
5.25	いわて青首	1866	1579	1468	38.2	8.5	12.6	7/29
	天 宝	1856	1571	1455	32.9	7.9	16.4	7/29
	岩手YR春いちばん	1446	1197	1083	33.6	7.8	10.1	7/30
6.10	W - 1 5 1 1	1560	1409	1310	38.2	7.8	15.9	8/11
	岩手YR春いちばん	1446	1267	1163	38.3	7.5	13.4	8/10

表3 収穫時の品質

播種期	品 種 名	着色 程度	総太り 割合(%)	硬さ (kg/cm)	抽だい 株率(%)	発生割合(%)						
						す	黒	空	裂	岐	曲	腐
H9. 5. 9	いわて青首	3.0	60	7.5	70	25	0	0	0	10	10	0
	天 宝	3.0	35	9.2	10	15	0	0	0	5	10	0
	岩手YR春いちばん	2.3	70	8.0	90	0	0	0	0	25	0	0
6.12	W - 1 5 1 1	2.4	0	12.6	0	0	0	0	0	25	15	0
	岩手YR春いちばん	2.2	30	9.1	0	0	20	0	0	0	0	0
H10.4.24	いわて青首	2.8	100	6.4	45	10	0	0	10	35	10	0
	天 宝	3.1	40	6.6	0	0	0	10	10	5	5	5
	岩手YR春いちばん	2.7	80	6.4	5	0	0	5	5	15	0	0
5.11	いわて青首	2.4	60	6.9	0	0	0	10	0	50	10	0
	天 宝	3.0	10	6.9	0	0	0	90	0	20	10	0
	岩手YR春いちばん	2.8	60	6.5	0	0	0	20	0	20	0	0
5.25	いわて青首	2.7	80	5.9	10	0	10	0	0	20	0	10
	天 宝	3.1	50	6.8	0	0	13	0	0	13	25	25
	岩手YR春いちばん	3.0	71	7.9	0	0	0	0	0	0	0	0
6.10	W - 1 5 1 1	2.1	100	7.8	0	0	0	0	10	0	10	0
	岩手YR春いちばん	2.4	70	6.9	0	0	0	0	0	0	10	0

着色程度: 青首の着色程度 1(淡)~5(濃) 根形: A-長円錐形 B-総太り形 C-円筒形 硬さ: 首部から10cm下部を輪切りにし、果実硬度計FT327(貫入部 8mm)で測定。抽だい株率: 花茎長が1cmを超えるもの、()内は花芽形成も含む。す: す入り 黒: 根内部に黒色の変色のみられたもの 空: 空洞症 裂: 裂根 岐: 岐根 曲: 湾曲部に人差し指1本以上はいるもの